広報さっぽろ 2012 2

市の各種制度や施設、行事、公共交通案内などは
札幌市コールセンター

☎222-4894　FAX221-4894
Eメール　info4894@city.sapporo.jp
午前8時～午後9時（土・日曜、祝・休日を含む）

市政に関するご意見、ご提案などは
市民の声を聞く課

☎211-2042　FAX218-5165

札幌市役所ホームページ

www.city.sapporo.jp
※広報さっぽろの誌面も掲載。
お住まいの区以外の区民のページもご覧になれます。

携帯電話対応サイト
http://www.city.sapporo.jp/mobile/
こちらからもアクセスできます→

市役所・区役所などの連絡先

●市役所
〒060-8611　中央区北1西2／地下鉄大通駅下車
☎211-2111（代表）FAX218-5161（広報課）

●区役所（電話は代表、ファクスは広聴係）

中央区	南3西11	☎231-2400	FAX231-6539
北区	北24西6	☎757-2400	FAX757-2401
東区	北11東7	☎741-2400	FAX742-4762
白石区	本郷通3北	☎861-2400	FAX860-5236
厚別区	厚別中央1の5	☎895-2400	FAX895-2403
豊平区	平岸6の10	☎822-2400	FAX813-3603
清田区	平岡1の1	☎889-2400	FAX889-2402
南区	真駒内幸町2	☎582-2400	FAX582-0144
西区	琴似2の7	☎641-2400	FAX641-2405
手稲区	前田1の11	☎681-2400	FAX681-6639

●大型ごみ収集センター（大型ごみの有料収集申し込み）
午前9時～午後4時30分（土・日曜、祝・休日を含む）
☎281-8153　耳や言葉の不自由な方はFAX281-4622

●救急医療情報案内センター（24時間）（医療機関の案内のみ）
フリーダイヤル　☎0120-20-8699
携帯電話、PHS専用　☎221-8699

●夜間急病センター
中央区大通西19／地下鉄東西線西18丁目駅下車
☎641-4316　FAX615-8604

札幌の人口と世帯
1月1日現在（前月比）
国勢調査ベース
1,923,368人（+206）
899,641世帯（+243）

市内の交通事故
平成23年1月1日～12月31日（前年比）
発生 **7,338件**（−717）
死者 **22人**（−14）
傷者 **8,490人**（−920）

広報さっぽろは、毎月10日までに、町内会などを通じて市内の全世帯に配布しています。また、一部の地域では、市が委託した民間の会社が配布しています。詳細は、広報課かお住まいの区の区役所広聴係へお問い合わせください。

編集 札幌市市長政策室広報部広報課
〒060-8611 中央区北1西2 ☎211-2036 FAX218-5161
Eメール　kohokakari@city.sapporo.jp

表紙のことば　おめんをつくろう

手稲区・星置東小学校1年3組　**松本　遼汰**

とてもこわいかおになったよ。みんなでできてたのしかったよ。2つもつくったよ。みんなこわいおにをつくったよ。みんなじょうずにできたよ。いろんなおにがあったよ。ぼくはあかいおにをつくったよ。とてもたのしかったよ。みんなでおにをつくったよ。

1年3組のお友達と先生

今月の広報番組

テレビ

札幌ふるさと再発見 STV
毎週土曜 午前11時54分～59分
［内容］「サッポロさとらんど」で楽しむ冬のアクティビティ ほか

いいコト聞いた UHB
2月12日（日）、26日（日）
午前8時55分～9時
［内容］やるぞ！ウインタースポーツ！ ほか

ウオッチング札幌 TVH
毎週水曜 午後10時54分～59分
※2月29日（水）は放送をお休みします。
［内容］札幌の冬の自然を大満喫！「定山渓自然の村」 ほか

ラジオ

スマイルさっぽろ AM 1287kHz HBC
2月11日（祝）、25日（土）
午前9時15分～25分
［内容］まちづくりトーク ほか
※2月25日（土）市長出演

さっぽろ散歩 AM 1440kHz STV
毎週土曜 午前11時30分～45分
［内容］「円山動物園」から冬の動物たちの様子をお届け！ ほか

サッポロ・シティ・ナビ FM 82.5MHz NORTH WAVE
2月5日（日）、19日（日）
午前9時50分～10時
［内容］「500m美術館」オープニング記念展（後期展）スタート ほか

中央・東・厚別・豊平・西区の広報番組を、それぞれの区内にあるコミュニティFM局で放送しています。放送日時などは、上記5区の区民のページをご覧ください。

※テレビ番組は、インターネット配信を行っています
http://www.city.sapporo.jp/somu/tvradio/movie.html

広報クイズ

問題

札幌市の高齢者のうち、□人に1人が認知症といわれています。□に入る数字は次のうちどれでしょう。

①1,000
②100
③10

プレゼント

正解者の中から抽選で30人の方に、共通ウィズユーカード（1,100円分）を差し上げます。

応募方法

はがき、ファクス、Eメール。クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と、広報誌や広報番組へのご意見・ご感想を記入し、広報課（左記）へ。1人1通。2月21日（火）消印有効。発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、1月号の正解は「札幌コレクション」でした。

［特集］

認知症を知る

記憶力や判断力が徐々に失われていく「認知症」。
皆さんは、これが「脳の病気」であり、
「誰もがなり得る」ことをご存じですか。
高齢化が進む札幌においても、多くの認知症の方と家族が、
さまざまな思いを抱えながら暮らしています。
今回の特集では、認知症に関わる方へのインタビューを通じ、
その実情に迫るとともに、
認知症になっても安心して暮らせるまちにしていくため、
私たちができることについて考えていきます。

【詳細】
介護保険課
☎211-2547

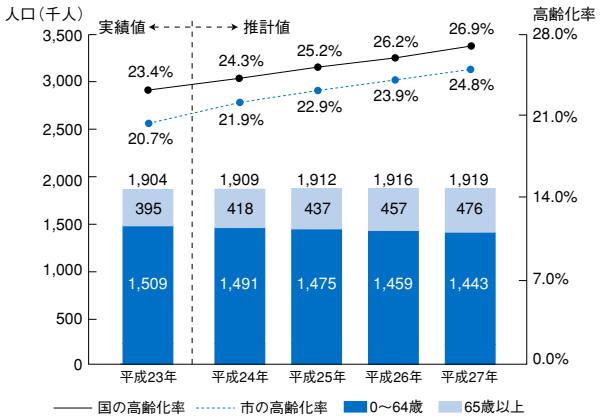
高齢者の10人に1人が認知症

札幌市内に暮らす65歳以上の高齢者は、現在約39万人。そのうち、判明しているだけで約4万人が認知症と診断されており、実に高齢者の10人に1人が認知症であることになります。

全国的な傾向と同様に、札幌市でも高齢化が進んでおり、平成27年には4人に1人が高齢者になることが見込まれています。これに伴い、高齢になるほどなりやすいといわれる認知症の方も今後増加していくと予想されます。

こうしたことから、認知症が今や私たちにとって身近な病気であることが分かります。

●札幌市の人口と高齢化の推移



病気を知る

専門家に聞きました

伊古田 俊夫（いこた としお）さん

勤医協中央病院名誉院長。医師として最前線で治療を行う一方、講演会などを通じて本市の認知症対策に取り組む。

認知症は、病名として耳にしたことはあっても、身近な人が患うまでは詳しく知る機会が少ないのではないでしょうか。しかし、高齢化が進む現代社会においては「いつ」「誰が」発症しても不思議ではない病気です。記憶力の低下や徘徊（はいかい）など、それまでの穏やかな生活を一変させてしまう認知症について、正しく理解しておきましょう。

認知症は記憶力や判断力が低下する脳の病気。

―**認知症とはどのような病気なのですか。**

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりして、日々の生活がうまく送れなくなる状態を指します。一般的な症状としては、「物忘れ」や「理解・判断力の低下」などが挙げられますね。

―**具体的にどのような変化が表れてくるのでしょうか。**

認知症は、新しい事を記憶できなくなるのが特徴です。言付けが伝えられない、バスに乗って外出しても目的地が分からなくなるなどがその例です。また、日付や季節、親しい人の顔が分からなくなる、服を上手に着られなくなる、ATMの操作ができなくなるといったことに加え、症状が徐々に進行するに連れて妄想や徘徊といった行動をとることもあります。

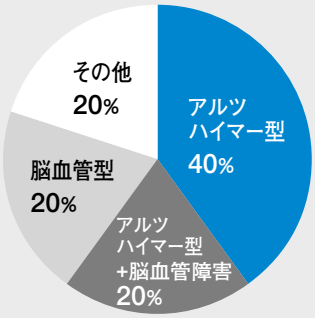
―**認知症はどのような原因で発症するのですか。**

原因となる病気には幾つか種類があります。最も多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと壊れていくアルツハイマー病。次に多いのが、脳卒中などの後遺症で発症する脳血管型認知症です。この二つで全体の約8割を占めています。

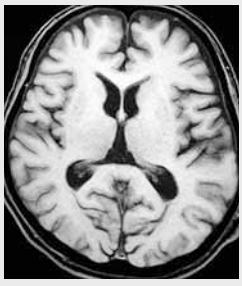
―**有効な治療法や予防策はあるのですか？**

認知症を治す特効薬はまだありませんが、薬を飲むことで症状の進行を遅らせることができます。また、早期に発見し治療することが大切であり、適度な運動やバランスの良い食事などの健康管理によって、発症のリスクを減らすことができるでしょう。

認知症の原因と割合



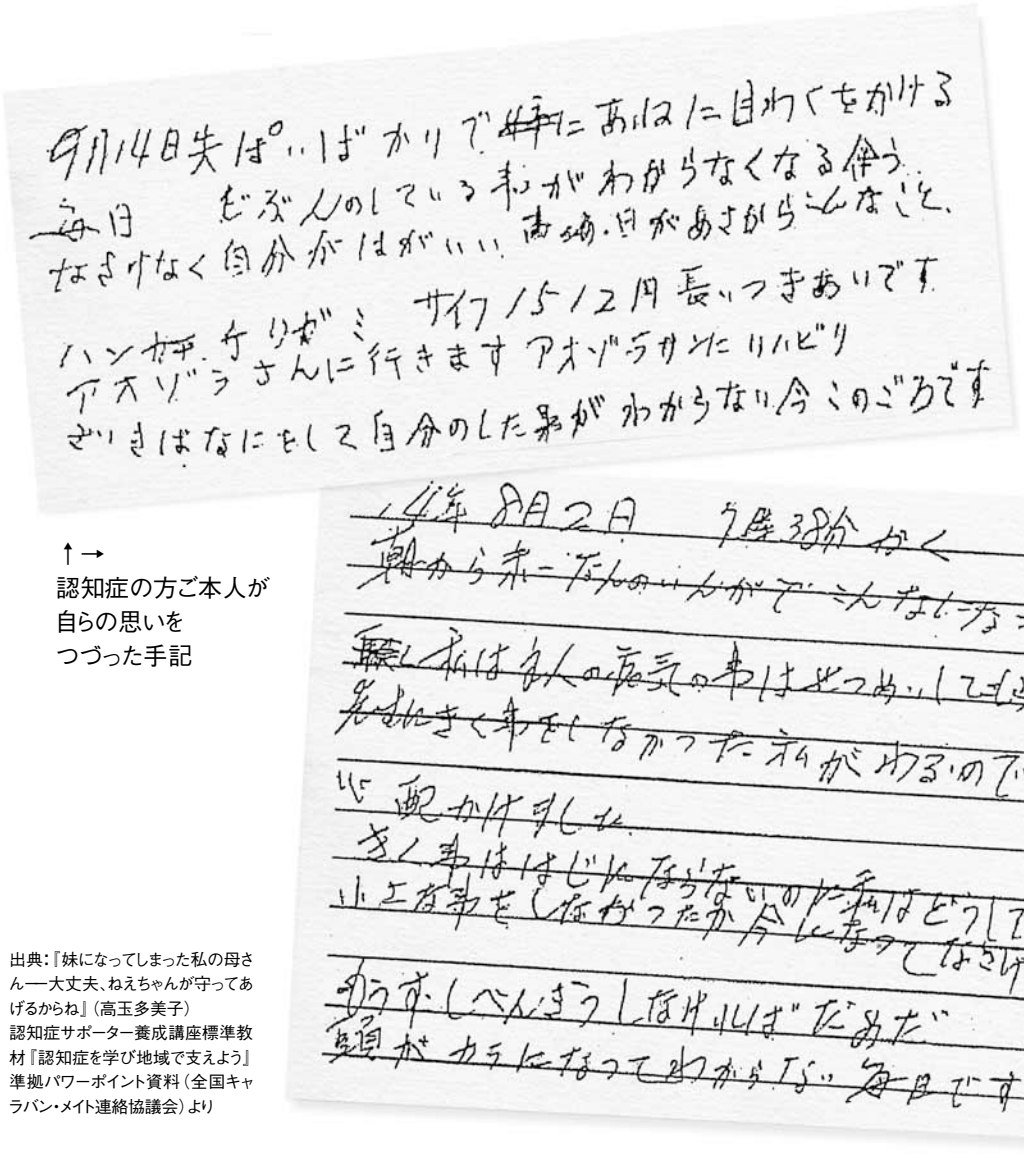
MRI画像で比較した脳内の様子


正常な人の脳

アルツハイマー型認知症の人の脳

脳血管型認知症の人の脳

思いを知る



↑→
認知症の方ご本人が
自らの思いを
つづった手記

出典：『妹になってしまった私の母さん――大丈夫、ねえちゃんが守ってあげるからね』（高玉多美子）
認知症サポーター養成講座標準教材『認知症を学び地域で支えよう』準拠パワーポイント資料（全国キャラバン・メイト連絡協議会）より

本人に「自覚はない」のか？

「認知症の本人には自覚がない」と考えている人がいます。しかし、認知症の症状に最初に気付くのが本人であることも少なくありません。度重なる物忘れや、今までできた作業がうまくできなくなるに連れて、「自分に何かが起こっている」という不安を感じるようになります。その後は、認知症への心配から抑うつ的になったり、逆に症状が出ていることを自分で受け入れられず、周囲に対してかたくなな態度をとったりするようになります。

誰よりも本人が不安と戦っている

誰よりも本人が、一番つらく、苦しく、悲しい思いをしているのです。そして、そのやり場のない複雑な感情と認知症による障害が、やがて妄想や徘徊などにつながっていきます。

健康な人が、認知症の方の心の内を正確に理解することは困難です。しかし、時に不可解とも思える行動が、「脳の病気」を抱えた不安から自分の心を守るための表現であり、理由のあることだと知ることはとても大切です。

認知症が引き起こす行動・心理症状

元気がなくなり、うつ状態に

今までできたことができなくなったことで自信を失い、全てが面倒になってしまう。また、能力の低下を強く自覚することにより自らの将来への望みをなくし、うつ状態に陥ってしまう。さり気なく手助けしながら小さい成功体験を積ませてあげることが有効。

もの盗られ妄想

大事な物をしまった場所を忘れ、「通帳がなくなった」などと言い出し、「自分が忘れるわけがない」という自尊心の強さや負い目などから「周りの人が盗んだ」と思いこんでしまう。探し物が出てくれば収まるので、頭ごなしに否定せず、冷静に対応することが大事。

家族の方に聞きました

認知症になると、日常生活に支障が出るほか、周囲とのコミュニケーションもうまくとれなくなります。そのため、常に目が離せないなど、介護する家族には肉体的にも精神的にも大きな負担が掛かります。中には疲れが頂点に達し、共倒れになってしまうことも。そうならないために必要なのは、認知症をあるがまま受け入れるための「気持ちの整理」です。

堅田 時子（かただ ときこ）さん

北区在住。19年前に認知症となった夫・孝一（こういち）さんを自宅で介護している。77歳。

19年間の介護を支えた夫婦の絆と感謝の気持ち。

―ご主人が認知症になったのは19年前だそうですね。

はい。主人は60歳の時に、くも膜下出血で倒れました。手術の結果何とか一命は取り留めたものの、過去の記憶はほとんどなくなり、全く話もできない状態でした。

―その時はどのような心境でしたか。

寝たきりの入院が何カ月も続き、不安が募る中、ふと病室で「お父さん、一緒に死のうか」とつぶやいたこともあります。でも当時のお医者さんが親身に励ましてくれて勇気が湧き、それから退院まで毎日リハビリに付き添いました。

―在宅の介護ではご苦労が多いのではと思います。

トイレや寝るときなど、大きい体を支えて介助するのは大変です。昼と夜が逆転し、夜中に起こされることもしょっちゅうですね。でも長くこの生活をしていると、つらさより喜びの方が思い出されます。夫が将棋の駒を上手に並べた時、前を走る車のナンバーを読み上げた時――そんな小さな出来事が本当にうれしく思えるんです。

―これまでの介護生活で分かったことはありますか。

毎日、優しい気持ちでたくさん話し掛けることが症状を悪化させないために大事だと思います。自分の心の負担を減らすには、介護を支えてくれる人を頼ることと、感謝の気持ちを持つこと。私が元気でいられるのは夫のおかげだと思っているんです。毎日「今日もありがとう」と声を掛けるんですよ。そうすると返事をくれるんです。「お母ちゃんのおかげだよ」って。

認知症介護者の「心理的ステップ」

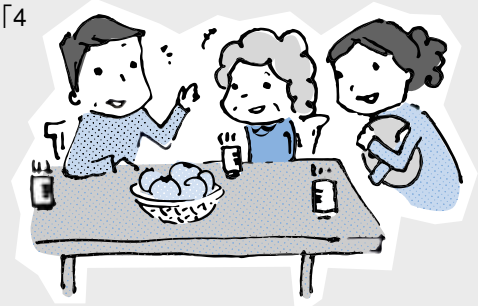
家族の誰かが認知症になったときは、誰しも動揺します。介護する人の心が穏やかになるまでには「4つの心理的ステップ」を経験するといわれ、いかに早く1、2のステップを通り抜けるかが重要です。

❶戸惑い・否定
認知症の方の症状に戸惑い、他の家族にも打ち明けられず悩む。

❷混乱・怒り・拒絶
どうしてよいか分からず絶望的な気分へと追い詰められる。

❸割り切り
認知症への理解が深まり、イライラしても仕方ないと割り切る。

❹受容
認知症の方の心理を自然に理解でき、あるがままを受け入れられる。



［特集］認知症を知る

支え方を知る

認知症の方は、病による不安から、周りの人との関係を損ねてしまうこともしばしば。そんなとき、身近に暮らす地域の方が認知症を正しく理解し、温かい心で支える気持ちがあれば、本人や家族の穏やかな暮らしを守ることができます。そのため市では、認知症への理解を深めてもらう「認知症サポーター養成講座」を実施しています。

受講者に聞きました

小笠原（おがさわら） 涼子（りょうこ）さん

北洋銀行北二十四条支店営業課に勤務。北洋銀行では年1回、認知症サポーター養成講座を含めた研修を実施しており、昨年3月に受講。

大切なのは尊厳を守り、じっくり話を聞くこと。

―銀行に勤務されていますが、日常の業務の中で認知症の方と接することはありますか。

通帳をなくしたと何度も来店される方など、月に数回、認知症と思われるお客さまがいらっしゃることがあります。以前は、認知症という言葉は知っていても、接するときに何に気を付けるべきか、よく分かっていなかったように思います。

―そうした中、「認知症サポーター養成講座」を受講されたのですね。

はい。顧客満足向上の一環として実施された行内研修の中にこの講座も組み込まれており、受講しました。認知症の具体的な症状や、認知症の方への接し方などを事例を交えて丁寧に教えてもらい、深く理解することができました。

―受講した結果、接し方などに変化はありましたか。

温かい気持ちで、ご本人の尊厳を守りながら話を聞くことを、より意識するようになりました。例えば通帳をなくしたというお客さまに対しては、「最後に使ったのはいつですか」「いつもどこにしまっていますか」などと尋ね、ご本人の話をじっくり聞いて納得してもらうよう心掛けています。

―今後、学んだことをどう生かしていきたいですか？

札幌市の高齢者の10人に1人が認知症であることを知ったとき、それまでいまひとつ現実感が薄かった認知症という病気が他人事ではないことを痛感しました。今後もこの病気に対する関心を持ち続けて、困っている方がいればできる限りサポートしていきたいです。

認知症サポーター養成講座

認知症について学ぶ90分程度の講座。講師を無料で派遣します。

［対象］10人以上の団体

［申込］区役所などで配布中のチラシの裏面に必要事項を記入し、開催希望日の1カ月前までに市役所3階介護保険課へ。

※このほか少人数・個人向けにボランティア研修センター（18ページ）で年4回実施しています

認知症の方と接するときの心得 3つの「ない」

❶驚かせない ❷急がせない ❸自尊心を傷つけない

特別なことはしなくても、「認知症に対する正しい理解」と「思いやる気持ち」があれば、あなたは認知症サポーターです。認知症の方が周りの状況を把握できない不安と常に戦っていることを理解し、温かく見守る気持ちで接しましょう。

［特集］認知症を知る

備えを知る

脳神経細胞が徐々に壊れていく認知症は、防ぎようのない病気と思われがちです。確かに、発症を完全に防ぐことは困難ですが、生活習慣を改善することで、発症や進行を抑えられる場合もあります。また、薬によって進行を遅らせることもできるため、早めに相談し、受診・治療につなげることが重要です。

介護予防センターで実施されている「すこやか倶楽部」では、脳の活性化につながる体操などを行っている。

予防策は適度な運動と健康管理

散歩や体操など、適度な運動を毎日30分～50分行うと、認知症になる確率を減らせることが証明されています。また、高血圧や糖尿病は認知症を悪化させるため、これらに対する健康管理も有効です。

このほか、仲間と頭を使った娯楽を楽しんだり、映画などを見て感動したりすることは、脳を活性化させ、認知症の発症・進行を遅らせるといわれています。

早期発見・受診・治療が重要

認知症には複数の種類があり、原因となる病気によっては治療で治る場合もあります。また治すことが難しくとも、早期に薬を服用することで進行が抑えられ、穏やかに生活する期間を長くすることが可能です。

市は区役所保健福祉課や認知症コールセンター、地域包括支援センターや介護予防センターなどの相談窓口を設置しています。少しでも不安があれば、まずは相談してみてください。

認知症チェックリスト

以下のような変化が続くときは、
すぐに相談してみましょう。

- □ 同じことを何度も言うと周りから言われることが多い
- □ 探し物をしていることが多い
- □ いつも財布や通帳など大切なものがなくなる
- □ 約束を忘れたり、待ち合わせの場所に行き着けなくなった
- □ 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- □ テレビのドラマは筋を追うのが面倒くさい
- □ 身だしなみを整えることがおっくうになり、構わなくなった
- □ 趣味や好きなことに関心がなくなった
- □ 何をするのもおっくうになった

認知症になっても安心して暮らすため必要なのは「一人一人の理解」

人生の大切な思い出や自分らしさを失わせ、人間関係にまでも影響を及ぼす認知症という病。この病を患い不安を抱える方が安心して生活を送るためには、周囲の人の支える気持ちが不可欠です。まずは認知症を理解し、認知症の方とその家族の思いに寄り添うことから始めてみてください。

気軽にご相談ください

例えばこんなとき
- もしかしたら認知症かもしれない
- 認知症の方への接し方が分からない
- どんな病院を受診したらいいの？

認知症コールセンター　☎206-7837

［利用日時］月曜～金曜（祝日を除く）、午前10時～午後3時

地域包括支援センター、介護予防センター

地域包括支援センターは市内21カ所、介護予防センターは53カ所あり、認知症をはじめ高齢者の相談を受け付けているほか、介護予防の教室なども行っています。

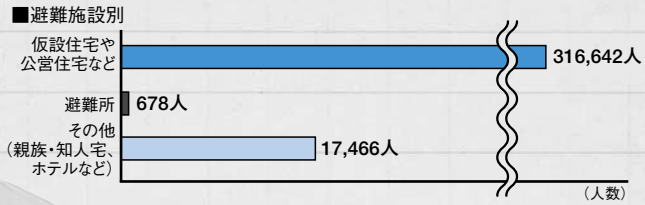
※お住まいの地区を担当するセンターを知りたいときは市コールセンター☎222-4894へお問い合わせください

忘れないで。3.11

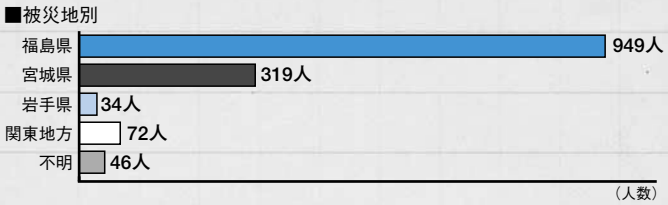
昨年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく1年。
地震と津波、そして原発事故によって瞬時に奪われた日常を、今なお取り戻せずに苦しむ被災者が数多くいます。
ここでは、そうした方々を被災地や市内で支援する市民活動団体へインタビュー。
活動の現状や、被災者を支えるために必要なことをお伝えするとともに、
被災者支援の活動をみんなで支える仕組みを紹介します。

被災者の状況

全国の避難者数 334,786人（昨年12/15現在）
※東日本大震災復興対策本部事務局調べ



札幌市への避難者数 1,420人（1/16現在）
※うち、公的住宅入居者は1,038人。その他は市の把握分のみ算入



被災地で支援

人口流出が止まらない被災地。地域の暮らしを立て直したい。

震災直後の3月13日には、津波で甚大な被害を受けた岩手県釜石市に駆け付けたNPO法人「ねおす」。以後、釜石市を拠点に、地元の方々、ボランティアと共に復興支援活動を続けています。

ワカメの種付けをしたロープを海に沈めるための土のうを作る、職員とボランティア。

NPO法人ねおす代表
高木（たかぎ） 晴光（はるみつ）さん

自然体験活動を行うNPO法人ねおすを1999年に設立。札幌や黒松内などを拠点に、農山漁村と都市との交流事業にも取り組む。

―震災2日後には被災地に入ったそうですね。

はい。釜石市に実家のある職員がいたため、翌日にはその職員と一緒に被災地に向かいました。ワゴン車に食料や毛布を詰め込んで現地に入りましたが、津波で壊滅状態でした。

―どのような支援活動をしたのですか。

当初は物資不足が深刻で、ワゴン車3台で燃料や下着などを何度も運びました。避難所生活が続いていた時は、出張フリーマーケットや炊き出し、がれきの撤去を行ったほか、子どもの遊び場づくりや、高齢者に農家の手料理を振る舞う活動などを行いました。

―今、被災者の一番の課題は。

家も仕事も失い、失業保険が切れる中、生活の再建が急務です。釜石では、市内での再起を諦め約3千人が転出したといわれます。

―漁業や起業の支援にも取り組んでいますね。

9月には、ワカメ養殖の再開を目指し、漁師やボランティアと3万個の土のうを作り、海に沈めました。今は地域の食堂を作ろうと、メニュー作りなどのお手伝いをしています。地元の人は、私たちのような外の人間の支援を積極的に受け入れ、立ち上がろうと懸命で、その姿から、人の強さやつながりの大切さを学ばせてもらっています。

―皆さんに一番伝えたいことは。

とにかく現地に行き、被災地を見てほしい。津波を受けた街は今も想像を絶する光景です。そうした中、飲食店や旅館などが徐々に再開し始めました。閑散とした街に観光客が戻って、経済が動き出せば、復興のきっかけになります。

被災者支援の活動を応援する仕組みがあります。

さぽーとほっと基金

市民の皆さんからの寄付をもとに、市民活動団体によるまちづくり活動に助成を行い、活動を支援する制度です。

■「被災者支援」を指定して寄付できます

寄付の際に、使い道を指定できます。昨年4月から、福祉・環境など17の「分野」や「団体」指定などに加えて、「被災者を支援する市民活動」を指定した寄付を受け付けています。

■多くの支援活動に役立てられています

これまでに被災者支援を指定した寄付金額は、合計約1,173万円（71件）。市が活動の緊急性などを審査し、これまで14の被災者支援活動に約946万円を助成しています。

寄付で、被災者支援を応援しませんか

1.被災者支援活動応援口座への振込　手軽に寄付できる

指定銀行の窓口、ATMから振り込みができます。

指定銀行 ①北洋銀行札幌市役所支店（普）〔口座番号〕3209345
②北海道銀行本店営業部（普）〔口座番号〕1759090

名義 ささえる会 被災者支援活動応援口座 代表 鈴木（すずき） 克典（かつのり）

2.寄付申出書による手続き　税の優遇を受けられる

下記で配布している申出書を提出。その後送付される納付書を使い、銀行などで振り込みます。個人の方は所得税と住民税が軽減され、法人は全額損金算入が可能です。

申出書の配布・提出場所 市役所13階市民活動促進担当

※申出書は下記のホームページからもダウンロードできます

「さぽーとほっと基金」に関するお問い合わせは、市民活動促進担当☎211-2964へ
ホームページでも詳しい情報をご覧になれます　www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/shien.html

市内で避難者を支援

いつ故郷に帰れるか。募る不安を少しでも和らげたい。

昨年4月、道内に避難している被災者自身が結成した「みちのく会」。避難者同士の情報交換の場として、また避難者と支援者・行政をつなぐ橋渡し役として活動しています。

茶話会の様子。札幌に避難してきて、ここで初めて頼れる仲間に出会うことも多い。

みちのく会会長
本間（ほんま） 紀伊子（きいこ）さん

9年前から夫と息子3人で宮城県川崎町で生活。昨年3月末、家族と一緒に実家のある札幌に避難した。

―活動のきっかけを教えてください。

私自身、原発事故の情報が全然入らない状況に耐えかね、3月末に宮城県から避難してきました。4月に行われた避難者支援のイベントで、多くの避難者に出会い、不安や悩みを共有できる横のつながりが必要と痛感。そこで知り合った12世帯で会を結成しました。

―どのような支援活動をしていますか。

会報やホームページで、避難者や移住希望者に市内の生活情報を発信しています。また、毎週木曜日に避難者が気軽に集える茶話会を開催。会員が700人を超え、会報の送付などの経費がかさむ一方、寄付などの活動資金は減少し、資金不足が深刻になっています。

―札幌への避難者はどんな方が多いのですか。

福島県からの避難者が大半で、やはり原発事故の影響を心配する母子が多いです。札幌を選ぶ理由は、福島から遠いことと、安全な道産食材が豊富なこと。海を越える分、永住を考えた強い決心で避難してくる人が多いですね。

―皆さんに一番伝えたいことは。

仕事の都合で夫は被災地という、二重生活を続ける避難者も多く、経済的・精神的に追い込まれています。さらにその苦境の出口は見えません。学校の年度替わりを待って、この春避難してくる親子も多いのではないかと思います。故郷や当たり前の日常を捨てざるを得なかった人たちに、札幌で少しでも安心して暮らしてほしい。支援はまだまだこれから必要なのです。

市議会の動き

11月29日に招集された第4回定例会の中から、12月6日、7日の代表質問の主な内容、最終日に可決された議案などについてお知らせします。
なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

公契約条例の制定、入札制度の改善

山口（やまぐち）　かずさ　民主党・市民連合

問本市が発注する工事や業務について、従事する労働者の適正な労働環境と事業の品質を確保することを目的とした公契約条例の制定に当たり、条例の適用範囲外の工事および業務契約についても、条例の趣旨が尊重されるように、適用範囲の拡大を視野に入れておくべきだと考えますが、いかがですか。

答条例については、施行後、その運用状況を的確に把握するとともに、賃金の支払い状況や労働者への周知方法など、さまざまな観点から検証を行い、必要に応じて見直しを行う予定です。適用範囲の拡大についても、条例の趣旨の浸透状況や実効性の確保状況などを考慮に入れて、検討を行っていきたいと考えています。

問適正な価格による競争を促すためには、公契約条例の制定とともに、入札制度の改善が必要であり、最低制限価格と低入札調査基準価格の設定基準を引き上げるべきだと考えますが、いかがですか。また、特定共同企業体の結成要件について、代表者を市内事業者に限定すべきだと考えますが、いかがですか。

答最低制限価格などについては、現在、国と北海道の設定基準や落札率の推移などを踏まえ、その引き上げ幅について検討しています。特定共同企業体の代表者を市内事業者に限定することについては、競争性の確保を前提に可能なものから取り組んでいきたいと考えています。

札幌市独自の医療計画

丸山（まるやま）　秀樹（ひでき）　公明党

問本市は、政令指定都市の中でも人口当たりの病院数や病床数が多く、北海道の医療拠点としての役割も果たしています。現在、本市独自の医療計画を策定中と聞いていますが、計画の理念と目標について伺います。

答「（仮称）さっぽろ医療計画」は、「市民が生涯を通して健康で安心して暮らせる社会の実現に向けた医療システムの確立」を基本理念とし、「安心を支える医療システムの構築」「地域と結びついた医療の強化」「市民の健康力・予防力の向上」を目標としています。

問策定中の医療計画では、「地域と結びついた医療の強化」について、どのような施策を考えているのか伺います。

答地域において必要な医療が受けられるように医療提供体制の強化が重要であると考え、かかりつけ医などの普及促進や在宅医療の強化、さらには医療と介護の連携推進などに取り組んでいきます。

高齢者福祉

小竹（こたけ）　知子（ともこ）　自民党・市民会議

問超高齢社会を見据え、高齢者に必要なサービスが切れ目なく提供される体制を確立するとともに、関係機関のネットワーク化を進め、サービスのコーディネート機能を充実させることが重要です。地域で暮らす高齢者への支援について、どのように考えているのか伺います。

答現在も民生委員、地区福祉のまち推進センターや町内会などの地域団体が見守り活動を行い、福祉や生活全般に関する相談などを実施しています。

ボランティアやNPO法人の協力を得ながら、高齢者の生活を支えている事例もあり、このような取り組みがほかの地域にも広がるよう、ネットワークづくりを推進していきたいと考えています。

問老人クラブ活動は、高齢者が元気に生きがいを持って暮らしていくために重要なものです。

現在、「老人クラブ活動費補助金」の見直しが行われていますが、今回の見直しにより、どのような効果を期待されているのか伺います。また、新制度のスタート時期や各クラブへのサポート方法について伺います。

答補助金の見直しを通じて、地域や市民に理解が広がり、クラブ活動のさらなる活発化や加入率の向上につながることを期待しています。新制度の平成25年度からの実施に向けて、各クラブへ活動事例の紹介や相談を行い、円滑な移行をサポートしたいと考えています。

委員会の主な活動状況

〔12/11～1/10〕

総務委員会

「北海道電力による泊原発3号機のプルサーマル発電計画の白紙撤回等に関する陳情」など計5件の陳情の審査を行い、採択すべきものとしました。(12/12)

札幌市次世代エネルギーパーク（中央区宮ケ丘3番地）を視察しました。(12/13)

財政市民委員会

（仮称）札幌市債権管理条例素案の概要について、財政局から説明を受け、質疑を行いました。(12/12)

文教委員会

中高一貫教育校および第2次札幌市図書館ビジョンについて、教育委員会から説明を受け、質疑を行いました。(12/12)

児童クラブの拡充および受益者負担の導入について、子ども未来局から説明を受け、質疑を行いました。(12/20)

厚生委員会

「乳幼児健診について集団健診の維持と充実を求める陳情」および「乳幼児健診を民間委託せず、現状の集団健診を維持することを求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/12)

第6期札幌市高齢者保健福祉計画・第5期札幌市介護保険事業計画（中間報告書案）およびさっぽろ医療計画（案）について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(12/14)

札幌市地域福祉社会計画（案）および札幌市障がい者プラン（案）について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(12/26)

議案審査のための常任委員会

関係する各常任委員会において、それぞれ審査を行いました。(12/12)

平成24年第1回定例会のお知らせ

第1回定例会は、2月14日(火)から3月28日(水)まで開かれ、各会派の代表質問は、2月20日(月)から3日間行われる予定です。

保育の質の向上

伊藤（いとう）　牧子（まきこ）
市民ネットワーク北海道

問 保育所の居室面積について、国が定める最低基準は、0歳、1歳児1人当たり乳児室1.65㎡、ほふく室3.3㎡です。

現在、本市は児童福祉施設の設備や運営基準などを定める条例の制定を検討中と聞いていますが、乳児室、ほふく室の面積基準を統一し、1人当たり3.3㎡を上回るべきだと考えますが、いかがですか。

答 保育所の居室面積基準は、乳幼児の健やかな育ちを支える保育環境を保障するために重要な基準です。乳児室、ほふく室の面積基準については、今後ご質問の趣旨も踏まえて検討していきます。

問 保育士の配置基準についても国の最低基準の踏襲ではなく、本市独自の基準を設けるべきだと考えますが、いかがですか。

答 本来、国が基準の改善と財源措置を図るべきであり、引き続き、国に対して要望していきたいと考えています。

住宅エコリフォーム補助制度

坂本（さかもと）　恭子（きょうこ）
日本共産党

問 住宅エコリフォーム補助制度は、市民や業者から申し込みが殺到し、予算規模の拡充が求められています。

この制度の経済波及効果は、2次効果まで含めると、どのくらいになり、予算の何倍になるのか、また、市長はどのように評価しているのか伺います。

答 住宅エコリフォーム補助制度の経済効果について、本年度、補助申請額約3,000万円に対して、20倍の約6億円の工事費が見込まれています。

これらの工事に関連して、波及する効果も大きいものと考えています。

問 来年度は、予算規模を大幅に広げ、本市経済を明るくする起爆剤と位置付けるべきだと思いますが、いかがですか。

答 来年度予算の拡大については、より多くの市民の皆さまにご活用いただけるよう検討を進めていきます。

第4回定例会

【最終日（12月14日）に可決された議案など】

○平成23年度一般会計補正予算
主に次の内容で総額2億4,893万円を補正するものです。
①台風12号による災害復旧関連
②㈶さっぽろシュリー運営費貸付金追加
③消防団管理費追加
④奨学基金造成費追加

○札幌市特定非営利活動促進法施行条例案
○札幌市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案
○札幌市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
○泊原子力発電所3号機のプルサーマル発電計画の白紙撤回等を求める意見書

このほか、「介護職員処遇改善交付金事業の継続を求める意見書」など合計29件の議案などが可決されました。

予算特別委員会と決算特別委員会のインターネット中継を実施

本市議会では、議会情報を速やかにお伝えするため、本会議のインターネット中継を実施しています。

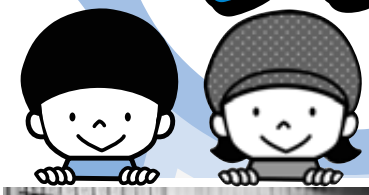
平成24年第1回定例会から、新たに「予算特別委員会」と「決算特別委員会」のインターネット中継を実施することになりました。

委員会の傍聴に来ることができない方も、開催と同時またはお好きな時間に録画で、委員会をご覧いただくことができます。市議会ホームページから、ぜひ、一度ご覧ください。

■ 編集　札幌市議会事務局
✆ 211-3164　FAX 218-5143
■ 市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

こどもむけのページだよ!

ぽろっこタウン



聞いて!

わたしの学校自慢

今月は 東区の中沼小学校

全校児童で和太鼓を演奏しています!

地域からの寄付などで集まった和太鼓を使い、全校児童で練習に取り組んでいます。夏祭りや毎年9月の和太鼓発表会などで披露し、地域みんなで盛り上がります。

↑昨年の秋の発表会では全校児童が力を合わせて熱演しました

3学期には上級生が下級生に演奏を教える授業があります。練習は手にまめができたりして大変だけど、みんなのリズムが合ったときは、とてもうれしくなります。

6年1組　松本 拓海くん

学校自慢を募集

自慢できる学校の取り組みを、はがき、ファクス、Eメールでお送りください。
住所、氏名、学校名・学年(年齢)、性別、電話番号を書いて、広報課(1ページ)「ぽろっこタウン」係へ。

わくわく実験ノート

コップの水はなぜこぼれないのかな?

↑コップを逆さまにしても水はこぼれません

用意するもの

☆コップ
☆水
☆厚手の紙(はがきなど)

やり方

1.コップに水を入れる。
2.コップの飲み口に厚手の紙をのせてふたをする。
3.紙を手で押さえたまま、ゆっくりと逆さまにする。
4.押さえていた手をゆっくりと離す。
＊水がこぼれることもあるため、ぬれてもよい場所で実験しよう。

水がこぼれないのは空気の押す力が働くため。紙とコップの間に隙間がないようにするのがこつです。

今回の先生　青少年科学館の宮川さん

2月に青少年科学館で行われるイベントは14ページをご覧ください

悩みごとがあるときは相談しよう

子どもアシストセンター

切り取って、保存版にしてね♪

0120-66-3783　Eメール assist@city.sapporo.jp
相談時間:月曜～金曜午前10時～午後8時、土曜午前10時～午後3時

札幌の将来を考えよう！

「人口減少」「超高齢社会」という
かつてない時代を迎える札幌市。
その変化に対応するため、
今後10年間のまちづくりの指針となる
「札幌市まちづくり戦略ビジョン」をつくります。
平成24年度末までの策定を目標に
検討を進めていますので、
目指すべきまちの将来像について、
ぜひご意見をお寄せください。

まちづくり戦略ビジョン編 | 詳細 政策企画部企画課☎211-2192

ビジョンの完成に向けて審議を重ねています

市民参加の会議やワークショップを通じて寄せられた意見を踏まえて、専門的な見地で審議を進めています。

まちづくり戦略ビジョン審議会

経済、福祉、都市計画など各分野の専門家による議論の場です。
今年の秋ごろまで審議を続けた後、市長に答申を行います。

これまで4回開催。意見の一部を紹介します。

地域・コミュニティ

【市民自治】若者が地域のまちづくりに関わりやすい環境づくりが必要
【交流】コミュニティづくりには世代間で交流できる仕組みが重要
【子ども】地域と連携した実習の仕組みを学校教育に取り入れるべき
【安全安心】防災対策など安心して暮らせるまちづくりが重要
【高齢者】元気な高齢者が活躍できる環境づくりが必要

経済・雇用

【経済活性化】経済の活力維持や成長を念頭に置いた議論が必要
【ものづくり】札幌ならではのブランドを育て、強くアピールすべき
【企業誘致】海外企業の誘致など、外国資本を活用することも必要
【雇用対策】若年層の雇用対策に力を入れて取り組むべき

その他

【環境教育】自然に恵まれた環境を生かした教育を推進すべき
【広域連携】道内の他市町村との連携や人材交流を進めるべき

参加者募集 人、地域、まちのつながりを考えるワークショップを10区で開催します

札幌のまちや地域にどんな「つながり」が必要か語り合うワークショップです。
人や地域のこれからの関係について一緒に考えてみませんか。

日時・会場　下表の通り。お住まいの区以外の会場でも参加できます。

日時	会場
3月3日（土） 午後1時30分～4時	清田区民センター（清田区清田1の2）
3月4日（日） 午後1時30分～4時	南区民センター（南区真駒内幸町2）
3月5日（月） 午後6時30分～9時	厚別区民センター（厚別区厚別中央1の5）
3月11日（日） 午後1時30分～4時	豊平区民センター（豊平区平岸6の10）
3月12日（月） 午後6時30分～9時	中央区民センター（中央区南2西10）
3月18日（日） 午後1時30分～4時	白石区民センター（白石区本郷通3北）
3月19日（月） 午後6時30分～9時	西区民センター（西区琴似2の7）
3月20日（祝） 午後1時30分～4時	手稲区民センター（手稲区前田1の11）
3月21日（水） 午後6時30分～9時	東区民センター（東区北11東7）
3月22日（木） 午後6時30分～9時	北区民センター（北区北25西6）

定員　各会場50人程度。

申込　電話、ファクス、Eメール。氏名（ふりがな）、年齢（年代でも可）、電話番号、希望会場、託児・手話通訳・要約筆記希望の有無（託児希望者は子の氏名、年齢も）、「つながるワークショップ参加希望」と記入し、2/11（祝）から市コールセンター（1ページ）へ。先着。

↑昨年7月に行われた「さっぽろ1000人ワールドカフェ」では、参加者が札幌の未来について意見を出し合った

まちづくり戦略ビジョン作りにご意見を

市役所10階政策企画部企画課、区役所で配布中のチラシをご覧の上、政策企画部企画課（〒060-8611中央区北1西2、ファクス218-5109）へ送付、ファクスか、区役所（1ページ）の広聴係へ持参。

新たにまちづくり戦略ビジョンのホームページができました ⇒ www4.city.sapporo.jp/kikaku/vision
議論の経過や、策定スケジュールのほか、「エネルギー」「安全安心」など、テーマごとの意見も募集中です